



東北ハイテク研セミナー

岩手の薬草作物栽培の今とこれから

「本セミナーは、農林水産省が実施する「知」の集積による産学連携支援事業により行われます。」

I 趣旨

薬用作物は中山間地の活性化や耕作放棄地の有効利用などの観点からも重要な品目であるが、生産者の高齢化や後継者不足などもあり、約9割が海外からの輸入に頼っているのが現状である。漢方製剤の原料である薬用作物は、主要生産国の中国での需要の高まりもあり、輸出制限、価格高騰の動きがみられる。生薬の安定生産・供給体制を確保するためにも、国内生産への期待が高まっている。しかし、薬用作物は普通作物と比べ、栽培法が確立しているとは言い難く、品種や農薬、農業機械などの開発整備も遅れている。

そこで、品目によっては価格保証制度があり、農業経営としても成立しうる環境が整備されていることから、セミナーを開催し、生産振興に資するための情報交換を行う。

II 日時：令和元年7月31日(水) 13時00分～14時00分

III 場所：集合場所・時刻：いわて沼宮内駅13:00

セミナー会場：いわて沼宮内駅構内プラザあい 2階 小中会議室

〒028-4303 岩手県岩手郡岩手町大字江刈内第6地割-1-4 電話：0195-62-2121

IV 主催：農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課産学連携室
東北地域農林水産・食品ハイテク研究会

後援：公益社団法人 農林水産・食品産業技術振興協会 (JATAFF)

V 内容

1. あいさつ 13:00

東北地域農林水産・食品ハイテク研究会事務局長

門間 敏幸

2. セミナー開催 13:05～14:00

司会・・・・・・・・・・東北地域農林水産・食品ハイテク研究会

星野 次汪

1) 岩手町における薬用作物のビジネスモデル (13:05～13:20)

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・岩手薬草生産組合

2) 薬用作物の栽培に取り組んで (13:20～13:50)

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・薬用作物生産者

3) 意見交換 (13:50～14:00)

VI 参集範囲：岩手町および近隣の薬草栽培者、農業経営者、農業指導機関、行政担当者など
参加費は無料です

VII 参加申し込み先：東北地域農林水産・食品ハイテク研究会 (事務局：藤井)

TEL：080-2806-9926 FAX：019-643-3588

E-mail：tohoku-hightech@kej.biglobe.ne.jp

会場の関係で、申し込み者が30名になりましたら締め切りさせていただきます。

(当研究会セミナー後、14:00より岩手薬草生産組合様の現地研修会が予定されております。)